

To Our Shareholders ～株主の皆さまへ …P1

『ファンが喜ぶこと』を発想の原点に、  
独自の創造力と技術力とで  
パチンコホールを支援してまいります。

ダイコク電機最前線 **Fade in** …P3

- 「DK-SIS白書2007」発刊
- DK-SISセミナー開催
- 名証IRエキスポ2008・  
証券教育広報センター主催IRセミナー
- セグメント別の状況 …P5



IL-A2





代表取締役社長 栢森雅勝

### ●当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格、原材料価格の高騰や、米国発の世界的金融不安による株式、為替市場の混乱が、企業業績に影響を与え、また消費者マインド悪化により個人消費も伸び悩み、景気悪化の兆候が顕在化してまいりました。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、顧客であるパチンコホールではパチンコ遊技機を中心に営業を行うと共に、いわゆる1円パチンコ等の低貸玉営業が全国に広がり、ファン拡大に向けた動きが見られました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチンコホールの店舗運営を強力に支援する新ブランド「MIRAIGATE」の普及と定着を推進し高い評価を得ております。

制御システム事業におきましては、当社が企画から携わった機種も市場に投入され、高い評価を受けました。

## 『ファンが喜ぶこと』を発想の原点に、独自の創造力と技術力とでパチンコホールを支援してまいります。

アミューズメントコンテンツ事業におきましては、コンシューマゲームでは、受託事業を中心にシフトし、携帯電話ゲームは新ジャンルへの取り組みを行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高202億20百万円（前年同期比32.8%増）、営業利益15億83百万円（同25億22百万円増）、経常利益16億59百万円（同22億62百万円増）、四半期純利益7億29百万円（同17億2百万円増）となり、増収増益、黒字化を果たしました。

### ●財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ、現預金および売上債権などの減少により31億76百万円減少の432億95百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ仕入債務などの減少により32億89百万円減少の198億75百万円となりました。また純資産では、前連結会計年度末に比べ微増の234億19百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4ポイント上昇の54.0%となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ15億36百万円減少の128億11百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける主な増加要因として、税金等調整前四半期純利益16億32百万円、減価償却費6億84百万円、売上債権の減少額14億95百万円および未収入金の減少や未払費用の増加がありました。また主な減少要

因として、仕入債務の減少額34億33百万円および法人税等の支払額6億34百万円がありました。その結果、得られた資金は4億14百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、おもに固定資産の取得があったことにより使用した資金は8億78百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済および配当金の支払により使用した資金は10億65百万円となりました。

### ●通期の見通し

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、平成20年5月14日公表の業績予想を、平成20年11月7日に次の通り上方修正いたしました。

(単位：百万円)

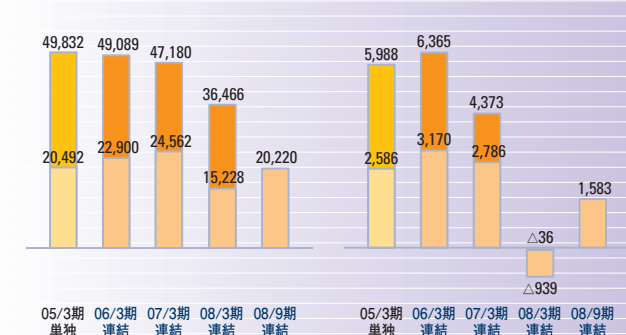
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	41,300	2,100	2,300	1,100	74.41円
今回修正予想(B)	43,000	2,900	3,000	1,400	94.70円
増減額(B-A)	1,700	800	700	300	—
増減率(%)	4.1	38.1	30.4	27.3	—
(ご参考)前期実績(平成20年3月期)	36,466	△36	779	△187	△12.70円

#### 通期の見通しに関する注意事項

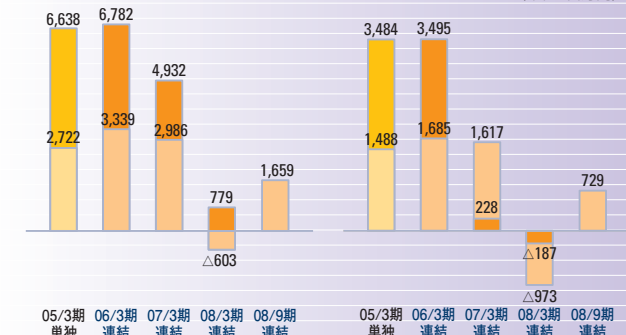
本冊子に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。したがって、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

### 主要財務データ……………Key Financial Data

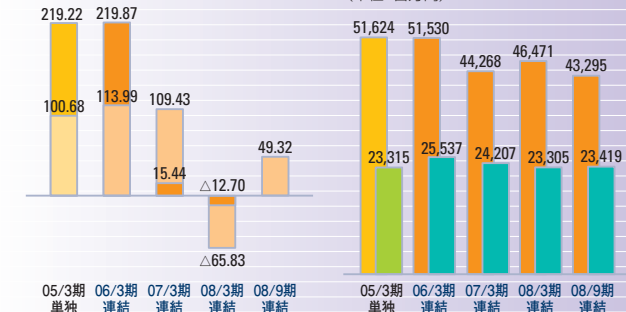
売上高 (単位：百万円) 営業利益又は損失(△)(単位：百万円)



経常利益又は損失(△)(単位：百万円) 第2四半期(当期)純利益又は純損失(△)(単位：百万円)



一株当たり第2四半期(当期)純利益又は純損失(△)(単位：円) 総資産純資産 (単位：百万円)



## 「DK-SIS白書2007」発刊

本書のご購入を希望される方は、当社HPからお買い求めくださいますようお願いいたします。

定価 20,000円(税込)  
<http://www.daikoku.co.jp/hakusyo.html>

このたび当社は「DK-SIS白書2007」を発刊いたしました。本書は創刊の「DK-SIS白書2003」から数えて5刊目となり、創刊時の約2倍となる2,612のDK-SIS加入パチンコホールから送信いただいた77万台分の遊技台データを日々集計・分析し、平成19(2007)年1月から12月まで1年分の膨大な情報をまとめたものです。

本書では「パチスロ5号機への完全移行により業界がどう変化したか」をテーマといたしました。2007年のパチンコホール業績は、パチスロの業績低下分をパチンコの業績向上が下支えたことにより、従来と変化がほとんどありませんでした。業績の変化ではなく「パチンコとパチスロの収益構造の変化」が2007年の最大の変化となりました。当社はこの状況を3年前から予見しておりました。これは何より、業界の現状を正しく認識していたからこそに他なりません。

パチンコホール経営企業の皆さまがこれからもDK-SISを引き続きご活用いただき、本書が企業活動の一助としていただくことを願っております。



## DK-SISセミナー開催



～DK-SISが次の一手を導きだす！～

セミナー1部 「DK-SISで見える！業績UPの極意がここに」

セミナー2部 「パチンコ新時代到来！進化したSISが導く勝ち残りへの営業戦略」

平成20年6月13日(金)の京都会場を皮切りに、札幌・長崎・愛媛など全国11会場で開催し、合計600名を超える皆さまにご参加いただきました。

今回セミナーを実施した地区は、過去数年間セミナーを開催していない地区がほとんどであり、主に当社製品・サービスをお使いいただけていない企業を対象として、新しい営業戦略のありかたを地域の現況を踏まえ提案いたしました。

また、経営の軸足がパチスロからパチンコへとシフトする中で、業績を向上させるための方策は何かを、DK-SISデータをバックボーンとした当社ならではの切り口でご説明いたしました。

各会場では参加者の皆さまの熱心にペンを走らせる姿が多く見受けられ、ダイコク電機への期待の大きさを感じることができたセミナーとなりました。

今後も業界から常に注目される新しい提案を行い、ブランド力のさらなる向上に注力してまいります。



## 名証IRエキスポ2008・証券教育広報センター主催 IRセミナー



### ○名証IRエキスポ2008

平成20年7月18日(金)・19日(土)の両日、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)にて行われた名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2008」にブース出展いたしました。今回で5回目の出展となるこのイベントは今年も盛況で、出展企業は昨年を上回る137社となり、2日間で6,200名もの来場者がありました。

当社ブースでは今回から対面形式と説明会形式を交互に行うかたちで、個人投資家の方々に当社の説明をさせていただき、400名を超える皆さまに当社についての説明を聞いていただきました。その際行いましたアンケートでは当社に対する認知度が年々上昇していることも分かり、継続的なIRの必要性を改めて感じました。

### ○証券教育広報センター主催IRセミナー

平成20年9月12日(金)には証券教育広報センター主催の個人投資家向け企業説明会を名古屋のナディアパーク3階デザインホールにて行いました。説明会には総勢455名の個人投資家の方々にご参加いただきました。



社長の栢森雅勝から当社の事業内容やパチンコ業界の現状、当社の四半期決算の状況などをご説明させていただきました。ご来場いただきました株主や投資家の皆さま、誠にありがとうございました。

今後も積極的にIR活動を行い、当社の知名度・認知度向上に努力してまいります。

## New Product 新製品情報

### MIRAIGATEランプ 「IL-A2」

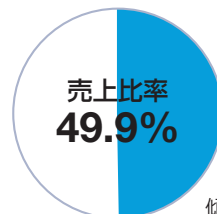
平成20年9月にMIRAIGATEランプの新製品として、「IL-A2」を発売いたしました。

業界初の「Wドット」を搭載することで、大画面の自由表示領域を実現し、大当り中などの状態に合った最適なデータを自動表示することを可能にしました。それにより、パチンコファンは遊技状態に合った最適なデータ表示を、ボタン操作や細かいデータの中から探す必要がなくなりました。

「IL-A2」はより詳細なデータを求める若年層ファンはもちろんのこと、ボタン操作が苦手な年配層ファンにも「見やすく」、「分かりやすく」最適なデータ表示を提供できる呼出ランプですので、パチンコホールでお見かけの際は是非ご活用ください。



## 情報システム事業



顧客であるパチンコホールは、7月に開催された北海道洞爺湖サミットに伴う遊技機入れ替え自粛後も、既存店舗での、パチンコ遊技機からパチンコ遊技機への入れ替え、1円パチンコの導入が継続して行われました。しかしながら、厳しい金融環境に変化は見られず、依然として新規出店等の大型投資を抑える傾向は続いております。

このような市場環境のなか、当事業は、「MIRAIGATE」の普及と定着を進め、ネットワーク対応型製品である、ホールコンピューティングシステム「CII」や呼出ランプ「VL-10」「IL-A1」の導入が順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は100億83百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益15億12百万円（同169.0%増）となりました。



## プレジャービジョン PV-55(R) II

ファンが求める情報とファンに伝えたい情報を効果的に結びつけた新しい情報公開ツール。サンド型のタッチパネルLCDで、過去のデータから本日のデータまで出玉推移グラフや大当たり発生履歴、ベスト台データなどグレードアップした多彩なデータがご覧いただけます。

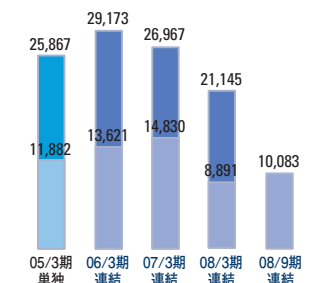


## 営業管理コンピュータ

パチンコホールの台管理・景品管理・顧客管理・映像管理・情報公開システムの総合営業管理を行い、パチンコファンの来店を誘発するための演出とセキュリティ強化に着目したホールコンピューティングシステムです。台データ管理機能は従来の基本性能を継承し、新しく柔軟性と拡張性を実現しました。

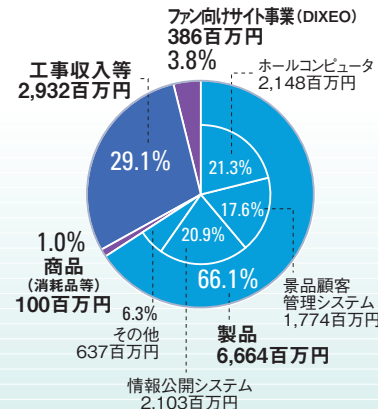
## ●情報システム事業売上高

■単独通期 ■単独第2四半期 ■連結通期 ■連結第2四半期  
(単位：百万円)

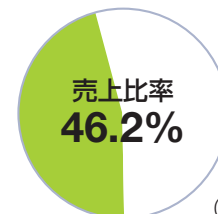


## ●情報システム事業売上高構成比

(百万円未満は切捨て)

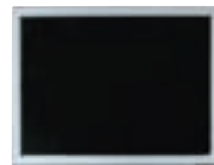


## 制御システム事業



当事業は、前年同期に対して販売機種数が増加しました。また、市場で高く評価された機種もあり、販売台数が計画を上回ることとなりました。その結果、製品販売は59億93百万円（前年同期比87.2%増）となりました。一方、商品販売は液晶パネルや可動役物に使われるモーターの販売も増加したことにより33億44百万円（同45.9%増）となりました。

この結果、当事業の売上高は93億38百万円（同69.9%増）、営業利益12億16百万円（同3,159.0%増）となりました。



## 表示ユニット

パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。



## 制御ユニット

基本動作をつかさどるハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。

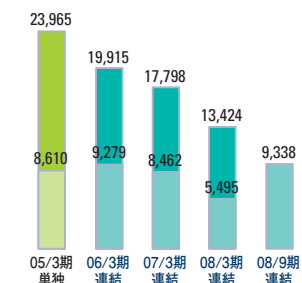


## 商品(部品)

パチンコ遊技機に使用される液晶パネル、スイッチ、ソレノイドなどのオートメーションパーツの仕入販売をしております。

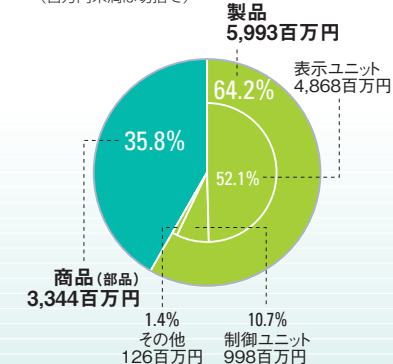
## ●制御システム事業売上高

■単独通期 ■単独第2四半期 ■連結通期 ■連結第2四半期  
(単位：百万円)

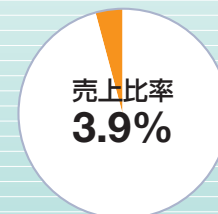


## ●制御システム事業売上高構成比

(百万円未満は切捨て)



## アミューズメントコンテンツ事業



当事業は、第1四半期連結会計期間よりコンシューマゲームにおいては、受託を中心に開発を行っております。携帯電話ゲームにおきましては、NTTドコモのデコメアニメ等の新たなジャンルへの取り組みや直感ゲームへ積極的にコンテンツを投入しました。しかし、携帯電話の販売手法の変更により機種への買換需要が大きく減少し、買換時に発生していたコンテンツ需要が低下すると共に、デコメアニメ等の新機種を対象としたサービスの立ち上がりが予想より遅れる結果となりました。

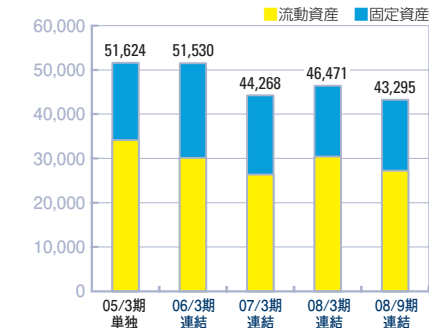
この結果、当事業の売上高は7億98百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失1億26百万円（同71.7%減）となりました。

第2四半期連結貸借対照表 (要旨)

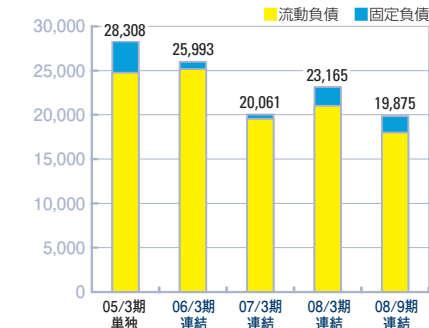
科目	当第2四半期 連結会計期間末 2008年9月30日現在	(ご参考) 前第2四半期 2007年9月30日現在	前期 2008年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	27,294	22,773	30,459
固定資産	16,000	16,724	16,011
有形固定資産	6,980	7,050	7,091
無形固定資産	1,398	1,591	1,476
投資その他の資産	7,621	8,082	7,443
繰延資産	0	—	0
資産合計	43,295	39,497	46,471
<b>負債の部</b>			
流動負債	18,014	16,394	21,034
固定負債	1,861	458	2,131
負債合計	19,875	16,853	23,165
<b>純資産の部</b>			
株主資本	23,367	22,613	23,230
資本金	674	674	674
資本剰余金	680	680	680
利益剰余金	22,014	21,260	21,876
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	6	5	6
少数株主持分	45	25	69
純資産合計	23,419	22,644	23,305
負債純資産合計	43,295	39,497	46,471

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

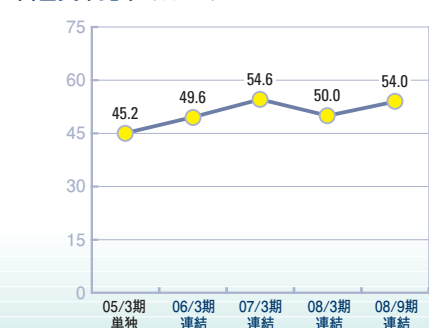
流動資産/固定資産 (単位:百万円)



流動負債/固定負債 (単位:百万円)



自己資本比率 (単位:%)



第2四半期連結損益計算書 (要旨)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2008年4月 1日から 2008年9月30日まで	(ご参考) 前第2四半期 2007年4月 1日から 2007年9月30日まで	前期 2007年4月 1日から 2008年3月31日まで
売上高	20,220	15,228	36,466
売上原価	13,260	10,616	25,755
売上総利益	6,960	4,612	10,710
延払販売未実現利益控除	—	—	121
延払販売未実現利益戻入	23	—	—
差引売上総利益	6,983	4,612	10,589
販売費及び一般管理費	5,400	5,551	10,626
営業利益又は損失(△)	1,583	△939	△36
営業外収益	153	405	980
営業外費用	78	69	164
経常利益又は損失(△)	1,659	△603	779
特別利益	22	3	312
特別損失	49	215	507
税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失(△)	1,632	△815	584
法人税、住民税及び事業税	1,035	64	693
法人税等調整額	△108	89	30
少数株主利益又は損失(△)	△23	4	47
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	729	△973	△187

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

売上総利益

前年同期に比べ情報システム事業、制御システム事業の売上が好調に推移したことにより、売上総利益率も4.1ポイント上昇の34.4%となりました。

販売費及び一般管理費

前年同期に比べ研究開発費が増加しましたが、広告宣伝費や業務委託費等の諸経費の削減により1億51百万円減少しました。

営業外収益

前年同期に比べ、保険の満期による収益金がなかったことにより減少しました。

特別損失

前年同期に比べ、固定資産の減損損失がなかったことにより減少しました。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2008年4月 1日から 2008年9月30日まで	(ご参考) 前第2四半期 2007年4月 1日から 2007年9月30日まで	前期 2007年4月 1日から 2008年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	414	△2,373	379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△878	175	1,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,065	△930	590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	0	△7
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△1,536	△3,128	2,220
現金及び現金同等物の期首残高	14,347	12,105	12,105
新規連結子会社分現金及び現金同等物の期首残高	—	—	21
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	12,811	8,976	14,347

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

営業活動によるキャッシュ・フロー

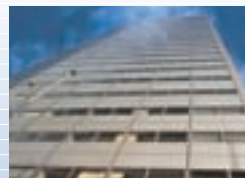
前年同期に比べ、営業成績が向上したことにより、大きく改善されました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

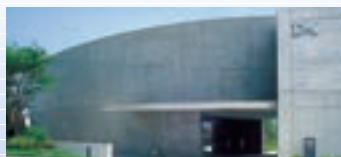
前年同期に比べ、前期に計上しました保険の満期による収入が当期にはなかったことにより、支出額が増加となりました。

(2008年9月30日現在)

●商号	ダイコク電機株式会社 DAIKOKU DENKI CO., LTD.																												
●創業	1964年12月																												
●設立	1973年 7月																												
●資本金	6億7千4百万円(発行済株式総数14,783,900株)																												
●本社	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階																												
●従業員数	(単独)454名 (連結)704名																												
●事業内容	パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売 パチンコ・パチスロ遊技機用ユニットの開発・製造・販売																												
●役員	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>栢 森 雅 勝</td> </tr> <tr> <td>代表取締役副社長</td> <td>栢 森 秀 行</td> </tr> <tr> <td>代表取締役専務</td> <td>栢 森 健 健</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>岩 根 節 雄</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>平 原 正 義</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>山 下 陽 陽</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>橋 本 忠 巳</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>根 本 弘 弘</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>堀 田 昌 郎</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>國 保 徳 丸</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>伊 東 幹 夫</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>田 中 正 雄</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>敷 田 稔 稔</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>村 橋 泰 志</td> </tr> </table>	代表取締役社長	栢 森 雅 勝	代表取締役副社長	栢 森 秀 行	代表取締役専務	栢 森 健 健	常務取締役	岩 根 節 雄	取締役	平 原 正 義	取締役	山 下 陽 陽	取締役	橋 本 忠 巳	取締役	根 本 弘 弘	取締役	堀 田 昌 郎	取締役	國 保 徳 丸	常勤監査役	伊 東 幹 夫	監査役	田 中 正 雄	監査役	敷 田 稔 稔	監査役	村 橋 泰 志
代表取締役社長	栢 森 雅 勝																												
代表取締役副社長	栢 森 秀 行																												
代表取締役専務	栢 森 健 健																												
常務取締役	岩 根 節 雄																												
取締役	平 原 正 義																												
取締役	山 下 陽 陽																												
取締役	橋 本 忠 巳																												
取締役	根 本 弘 弘																												
取締役	堀 田 昌 郎																												
取締役	國 保 徳 丸																												
常勤監査役	伊 東 幹 夫																												
監査役	田 中 正 雄																												
監査役	敷 田 稔 稔																												
監査役	村 橋 泰 志																												
(注) 1. 取締役 堀田昌郎氏、國保徳丸氏は社外取締役であります。 2. 監査役 田中正雄氏、敷田稔氏、村橋泰志氏は社外監査役であります。																													



本社



本部事業所

## ●事業所一覧

本 社	〒450-8640	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル TEL(052)581-7111(代表)
本部事業所	〒480-0395	春日井市坂下町1丁目875 TEL(0568)88-7111
高蔵寺事業所	〒487-0014	春日井市気嚙町一丁目2番地 TEL(0568)51-7111
春日井事業所	〒480-0304	春日井市神屋町1番26 TEL(0568)88-7771
TOKYO デザインスタジオ	〒169-0072	東京都新宿区大久保1丁目3番21号 新宿TXビル

## ●拠点一覧

東日本支店	〒110-0005	東京都台東区上野七丁目2番10号 上野駅前第一生命ビル
・茨城営業所	〒305-0032	つくば市竹園二丁目2番地4 第2・ISSEIビル
・北関東営業所	〒330-6022	さいたま市中央区新都心11番地2 明治安田生命さいたま新都心L.A.タワー
・新潟出張所	〒950-0925	新潟市中央区弁天橋通1丁目2番39号 VMビルディング
・仙台営業所	〒980-0014	仙台市青葉区本町二丁目2番3号 鹿島広業ビル
・札幌営業所	〒001-0011	札幌市北区北十一条西四丁目1番地44 ベルエアプラザ
・盛岡出張所	〒020-0045	盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号 マリオス
中 部 支 店	〒480-0304	春日井市神屋町1番26
・金沢出張所	〒920-0027	金沢市駅西新町3丁目9番26号
・松本出張所	〒390-0852	松本市大字島立399番地1 滴水ビル
西日本支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原四丁目1番14号 住友生命新大阪北ビル
・岡山営業所	〒700-0927	岡山市西古松一丁目1番26号 オム第Ⅱビル
・高松出張所	〒761-8071	高松市伏石町2130番地1 丸忠Ⅲビル
九 州 支 店	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南二丁目1番9号 ヤマ工博多駅南ビル
・広島営業所	〒730-0004	広島市中区東白島町14番15号 NTTクレド白島ビル
・宮崎出張所	〒880-0801	宮崎市老松一丁目3番3号 松屋ビル

## ●関係会社

## ●連結子会社

DIXEO株式会社、元気株式会社、元気モパイル株式会社、DO株式会社

## ●関連会社

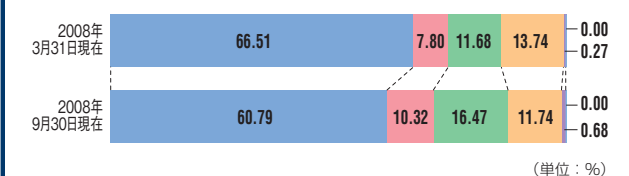
株式会社ラビス

## ●株式状況

発行可能株式総数	66,747,000株
発行済株式総数	14,783,900株
株主数	3,643名

## ●所有者別株式分布状況

	2008年9月30日現在		2008年3月31日現在	
■個人・その他	8,986,960株	3,459名	9,833,368株	3,670名
■金融機関	1,525,100株	24名	1,153,000株	27名
■その他国内法人	2,435,400株	66名	1,726,900株	69名
■外国人	1,735,099株	70名	2,030,668株	85名
■証券会社	101,151株	23名	39,774株	24名
■自己名義株式	190株	1名	190株	1名
合計	14,783,900株	3,643名	14,783,900株	3,876名



## ●持株数別株式分布状況

	2008年9月30日現在		2008年3月31日現在	
1単元未満	504株	53名	541株	45名
1単元以上5単元未満	384,521株	2,281名	413,880株	2,441名
5単元以上10単元未満	252,788株	433名	270,992株	459名
10単元以上50単元未満	1,164,348株	719名	1,261,104株	766名
50単元以上100単元未満	382,418株	56名	384,750株	57名
100単元以上500単元未満	1,519,181株	78名	1,626,318株	83名
500単元以上1,000単元未満	263,900株	4名	477,175株	7名
1,000単元以上5,000単元未満	1,716,600株	7名	1,733,100株	8名
5,000単元以上	9,099,450株	11名	8,615,850株	9名
合計	14,783,710株	3,642名	14,783,710株	3,875名

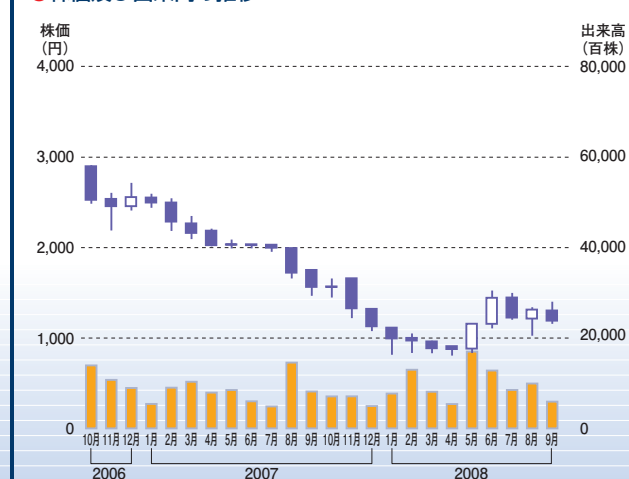
(注) 1. 2008年3月31日現在の持株数別株式分布状況には、自己名義株式1名190株を含んでおりません。  
2. 2008年9月30日現在の持株数別株式分布状況には、自己名義株式1名190株を含んでおりません。

(2008年9月30日現在)

## ●大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
栢森 雅勝	1,885,650	12.75
栢森 健	1,767,200	11.95
栢森 寿恵	1,090,750	7.38
財団法人 栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 秀行	739,100	5.00
栢森 新治	737,150	4.99
栢森 隆	712,500	4.82
栢森 美智子	626,000	4.23
メロンバンク トリーティー クライアツ オムニバス	624,300	4.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	520,300	3.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	474,900	3.21
ダイコク電機従業員持株会	313,500	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	196,100	1.33
株式会社みずほ銀行	150,000	1.01
メロンバンク ノントリーティー クライアツ オムニバス	121,400	0.82
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505224	107,200	0.73
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー)	76,000	0.51
サブアカウントアメリカン クライアント		
メリルリンチインターナショナルエクイティデリバティブス	63,700	0.43
ザバンクオブニューヨーク&ジャスティックトリーティー アカウント	62,100	0.42
チェースマンハッタンバンクジーティーエスクライアツアカウント エスクロウ	62,100	0.42

## ●株価及び出来高の推移



## 株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日
  - **定時株主総会** 6月下旬
  - **基準日** 定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ告知いたします。
  - **株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
  - **同事務取扱場所** 〒460-8685  
名古屋市中区栄三丁目15番33号  
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部  
TEL. 0120-78-2031(フリーダイヤル)
  - **同取次所** 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
  - **公告方法** 電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 公告のホームページアドレス <http://www.daikoku.co.jp/>

### 〈お知らせ〉

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

### IR情報メール配信サービス

当社は、投資家の皆さまに対して電子メールによるIR情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた方々に当社ホームページ(<http://www.daikoku.co.jp/>)に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。

ご希望の株主さまは、当社ホームページにアクセスした後、「IRメール配信ご登録」ボタン、またはディア・ネットサービスホームページ(<http://www.dirnet.jp/6430>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。

### 株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主さまの権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

1. **株券電子化実施後の未払配当金の支払のお申出先**  
これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。
2. **株券電子化実施後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先**
  - ①証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主さま：  
お取引証券会社等
  - ②証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主さま：  
特別口座を開設する下記口座管理機関  
なお、②に該当される株主さまにつきましては、証券会社等のご本人さま口座への振替請求を含めまして、お申出を受け付けることができるのは、特別口座に登録される予定日であります平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

記

- 口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同ご照会先 (郵便物送付先)  
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
- 同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

### 株券電子化実施前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主さまの単元未満株式の買取請求につきましては、次のとおりのお取扱いとさせていただきますのでご了承願います。

1. 平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます。)
2. 平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間は、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。  
なお、ほふりに株券を預けられている株主さまに関しましても、株券電子化直前に単元未満株式の買取請求の受付停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

### 株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



〒450-8640 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階

TEL(052)581-7111(代表)

ホームページ <http://www.daikoku.co.jp>

